

令和8年7月17日（金）第1学期終業式式辞

今日で1学期が終了します。

1学期を振り返ってみますと、233名の新入生を迎え、全校生徒621名で今年度がスタートしました。5月には中間考査、6月には6学科の特徴を踏まえた1年生の職場見学、友人との交流を深めた2、3年生の遠足を実施したほか、部活動では190名の生徒が出場した県総体、四国総体ではライフル射撃部が出場を果たしました。そして先日行われました高校野球でもシード校相手に、必死にプレーする選手、応援する生徒が一体となり、伊予農が一つになった瞬間を味わいました。是非、この勢いを2学期につなげてほしいと思います。

また、姉妹校である台湾新社高級中学の生徒、先生方が来校され、皆さんと言葉の壁を越えて温かく交流することができました。

さて、夏休みを迎えるにあたり、生徒の皆さんには4月から今日まで自分の生活を少し振り返っていただきたいと思います。

私からは、始業式に

①新しい自分を見つけてほしい。

②伊予農生として、何をなすべきかを考えて、有意義な伊予農生活を送ってほしい。

ということをお願いしました。各自が立てた目標を含めて、その達成状況はいかがでしょうか。

新しい自分が見つけられましたか。また、農業高校で学ぶ意義を普段の高校生活を通して学んでいますか。

もし、まだできていないと思う人は、今日から明日からでもいいので、もう一度挑戦してみてください。

現在、行われていますサッカーワールドカップ北中米大会では、伊予市出身の鎌田大地選手、そして西条市出身の長友佑都選手と、愛媛ゆかりの選手たちが日本代表として活躍しました。皆さんも熱い声援を送ったのではないのでしょうか。

中でも鎌田選手は、愛媛県出身の選手として初めて見事なゴールを決め、一躍「時の人」となりました。しかし、その華やかな活躍の裏には、並外れた努力があります。鎌田選手は高校卒業後にJリーグへ入団した直後から、将来の海外移籍を見据えて「6ヶ月で絶対に英語を話せるようになる」と決意。週に3、4回も英会話教室に通っていたそうです。

皆さんも、日々の学校生活や家庭生活の中で、ぜひ高い目標を掲げてください。そして、一步一步成長していく自分自身と、真っ直ぐに向き合ってほしいと思います。

明日から夏休みとなりますが、実習や部活動、農業クラブ活動等で忙しい毎日かと思います。3年生は就職・進学に向けて本格的に活動する夏休みとなります。2年生は部活動で中心的な役割を担うこととなります。1年生は高校生活にも慣れ、伊予農生の自覚を持って過ごすこととなります。生徒の皆さん一人一人が挑戦する夏休みとなることを願って、1学期終業式の式辞といたします。